

街角 ウオッチング

卒業生の校歌収録したCD

虚空に高くそびえて立てる鬼城の嶽に旭は生れぬ。福知山市北小谷ヶ丘、桃映中学校（一色浩幸校長）の始業式などの式典で、今年3月に卒業した生徒たちが歌った校歌を録音したCD音源が流れている。

新型コロナウイルスが流行した2020年に入学した卒業生たちは3年間、校歌を斉唱できなかった。

そこで、地域に住む音楽制作者の足立直敬さん（53）が、「母校への恩返しのため、卒業生が歌った校歌をCDにしたい」と提案した。

3月に同校の音楽室で、足立さんがマイクや機材を持ち込んで、クラスごとにレコーディング。収録後、声のバランスなどを編集したCDが贈られた。卒業式でお披露目され、卒業生たちは自分の声の校歌を聞きながら学校を巣立っていった。

新型コロナウイルスがら類に移行してからは、音源を流しながら在校生たちが一緒に校歌を斉唱している。

一色校長は「（足立さんが）母校のために動いてくれて、本当にうれしかった。卒業生も思いを込めて歌ってくれて、桃映の宝物になりました」と話している。



文化祭の審査員でもお世話になった足立直敬さんの記事です。

令和5年11月6日 両丹日日新聞